

緒 言

昨年の2022年（令和4）は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大（第6波）に始まり、夏の時期には第7波、冬の時期には第8波というように、新型コロナウイルスの急速な感染拡大は、社会状況に大きな影響を与えた年であったと思います。そうした中にあっても、別府大学アジア歴史文化研究所として、昨年は以下の2つの研究会の大会に共催をすることができました。

昨年9月3日（土）、4日（日）には別府大学アジア歴史文化研究所の共催により、別府大学において、宋代史研究会の全国大会「2022年度宋代史研究会夏合宿」（対面とZoomによるハイブリッド形式で開催）を開催することができました。この開催にあたっては、別府大学アジア歴史文化研究所の運営委員であり、本学准教授の宮崎聖明先生の多大なる御尽力をいただきましたことに感謝致します。

そして、昨年11月12日（土）・13日（日）には別府大学アジア歴史文化研究所、別府大学史学研究会の共催により、第48回九州旧石器文化研究会大分大会（九州旧石器文化研究会初代会長、橘昌信先生追悼研究集会）を別府大学において開催することができました。この開催にあたっては、別府大学アジア歴史文化研究所の運営委員であり、本学准教授の玉川剛司先生の多大なる御尽力をいただきましたことに感謝致します。

また、第48回九州旧石器文化研究会大分大会の開会（11月12日）にあたりましては、御多忙の中、別府大学学長の友永植教授から開会の御挨拶を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

コロナ禍の状況は本年（2023年）も続くかもしれませんが、こうした形で別府大学アジア歴史文化研究所としての活動を続けていくことができれば、と考えております。

2023年（令和5）2月吉日

別府大学アジア歴史文化研究所長

白 峰 旬



宋代史研究会（2022年9月3日・4日）



第48回九州旧石器文化研究会大分大会（2022年11月12日・13日）